

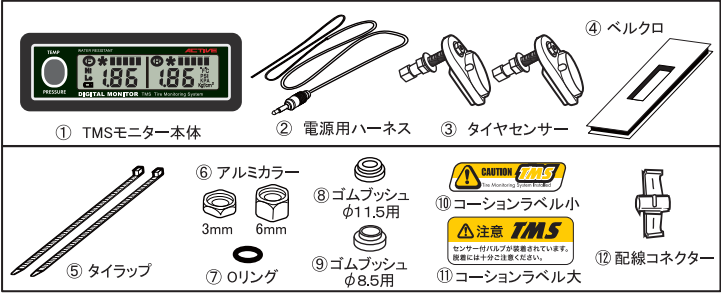
# ACTIVE DIGITAL MONITOR

## デジタルモニター 取り扱い説明書



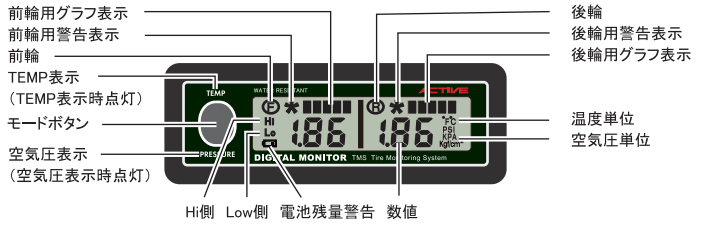
このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。本取扱説明書を熟読し内容をご理解の上、正しくご使用ください。

品名 タイヤモニタリングシステム(TMS) 品番 1080058 JAN 4538792540153



番号	部品名	数量	番号	部品名	数量
1	TMSモニター本体	1	7	Oリング	2
2	電源用ハーネス	1	8	ゴムブッシュφ11.5用	2
3	タイヤセンサー	2	9	ゴムブッシュφ8.5用	2
4	バルクロ	1	10	コーションラベル 小	2
5	タイラップ	2	11	コーションラベル 大	2
6	アルミカラー 3mm, 6mm (各1)	2	12	配線コネクター	1

### 画面表示説明



ボタン操作	通常画面時	設定画面時
上側	温度・空気圧表示を切替えます	単位・数値を切替えます
下側	設定画面に切替えます	設定の決定・設定項目を切替えます

### 仕様書

モニター本体		タイヤセンサー	
適合車種	12V直流バッテリー搭載車(※1)	圧力測定範囲	0.15~8.45kgf/cm <sup>2</sup>
消費電力	平均150mA(最大230mA)		0~837kPa
作動電圧	8V~16V		0~120PSI
作動温度	-20°C~85°C	温度測定範囲	0~100°C/34~212°F
表示圧力範囲	0.05~8.45kgf/cm <sup>2</sup>	電源	電池/CR2450/3V(※2)
	0~837kPa	作動温度	-30~100°C
	0~120PSI	温度表示誤差	±3°C以内
圧力表示誤差	±0.15kgf/cm <sup>2</sup> 2PSI以内	測定間隔	2秒
表示温度範囲	0~100°C/34~212°F	送信間隔	5分(※3)
表示間隔	0.05kgf/cm <sup>2</sup> (空気圧)・1°C(温度)	電波周波数	315MHz(※4)
外形寸法	90.5x32x21mm (LxWxH)	外形寸法	44.7x27.5x14.5mm(バルブ含まず)(※5)
重量	54g	重量	30g

※1: バッテリーレス車・交流車不可  
 ※2: 電池寿命約3年 / 電池交換にはセンサー用ケースが必要です。(品番: 1080058-04 価格1050円/税込)  
 注) 電池の寿命は使用状況(送信頻度)により差がございますので、目安としてお考えください。  
 ※3: 空気圧に0.15kgf/cm<sup>2</sup>の増減があった場合には、自動的に送信有り  
 ※4: 特定無線設備認証取得  
 ※5: リムの深い形状もしくはバルブ取付部のザグリが深いホイールには装着できない場合がございます。  
**注意: TMSを装着の際、一般道路及び高速道路での走行は法定速度を守ってご利用ください。**

### 機能説明

機能	内容
温度計測	タイヤ内の温度を計測・表示
空気圧計測	タイヤ内の空気圧を計測・表示
バーグラフ表示	温度・空気圧をバーグラフで表示
警告機能	任意に設定した空気圧を超えるか下回るとバックライトの色が赤色で点灯し警告
	任意に設定した温度を超えるバックライトの色が赤色で点灯し警告
	センサーの電池切れ・センサー故障時に警告表示

### オプションパーツ

1	モニターステー プレートタイプ 取付け部形状の種類が多いプレートタイプ のステー。アルミ製	1	ハンドルメータークランプ プレートタイプと組み合わせて使用する ハンドルクランプ。アルミ製 φ22 品番 1080003	2	
OPTION	位置	角度	品番		
OPTION	サイド	ストレート	1080048		
	サイド	25度A	1080049		
	サイド	25度B	1080050		

### バーグラフ説明

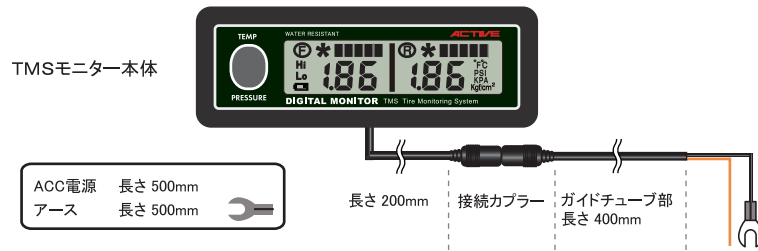
バーグラフ	空気圧			温度	
	Kgf/cm <sup>2</sup>	PSI	KPA	°C	°F
■	0.00~0.95	0~13	0~91	0~20	32~68
■■	1.00~1.95	14~27	98~189	21~40	69~104
■■■	2.00~2.95	28~41	196~286	41~60	105~140
■■■■	3.00~3.95	42~55	293~384	61~80	141~170
■■■■■	4.00以上	56以上	398以上	81以上	171以上

### TMSの装着

#### 1. 本体の取り付け

モニター本体の取り付け位置を決め、モニターステー(別売)等にマジックテープ・タイラップを使用して確実に取り付けます。配線の結線は、下図を参考に行ってください。

※ 本体取り付け前に一度、本体に電源を投入し作動確認を行ってください。



※電源用ハーネスの接続カプラー(オス側)がタンク等の金属部分に接触するとショートする恐れがありますので接続カプラーの未接続時の取り扱いには注意してください。

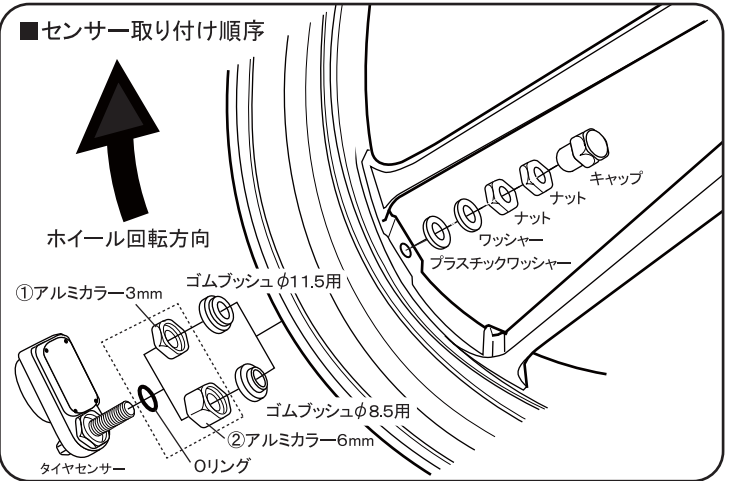
#### 2. タイヤセンサーの取り付け

「F」と表示されているタイヤセンサーは前輪に取り付けます。「R」と表示されているタイヤセンサーは後輪に取り付けます。※前後を間違えると誤作動を起こす可能性があります。

★タイヤセンサーのスイッチ★  
 タイヤに空気を注入すると空気圧によりセンサーは自動的にスイッチが入ります。  
 ★窒素ガス使用可★

- 1) 車体からホイールを外し、タイヤ・エアバルブを取り外します。
- 2) タイヤセンサーを取り付けます。(下記図参照)
- 3) タイヤを取り付け、ホイールを車体に取り付けます。
- 4) コーションラベルをホイールのバルブ近辺に貼り付けます。

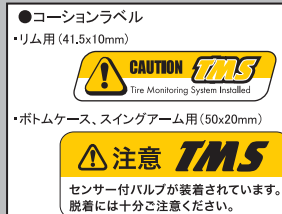
※ センサー取付の際は、別紙の「センサー取付時のバルブの締め付け目安」を参照して下さい。  
 ※ リムの深い形状もしくはバルブの取付け部のザグリが深いホイールには装着できない場合がございます。



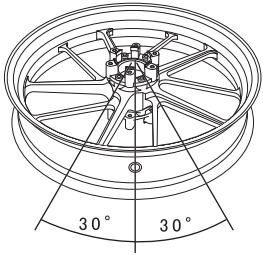
#### 取り付けパターン

- ① バルブの取り付け穴径がφ8.5の場合  
ホイール内側にゴムブッシュφ8.5用を使用して取り付けます。
- ② バルブの取り付け穴径がφ11.5の場合  
ホイール内側にゴムブッシュφ11.5用を使用して取り付けます。
- ③ タイヤセンサーがホイールに接触してしまう場合アルミカラー①もしくは②を追加します。  
アルミカラーを使用する場合バルブとアルミカラーの間に付属のOリングを追加します。  
※アルミカラー①と②は同時に使用しないでください。

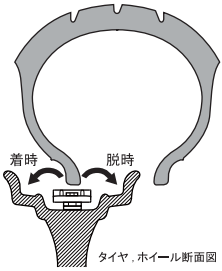
★注意事項★  
 タイヤ脱着時にタイヤ内にタイヤセンサーが取り付けられていることを示し、注意を促すコーションラベルです。必ずホイールのバルブ近辺とボトムケース、スイングアームに貼り付けてください。



## 注意事項



★タイヤ脱着時★  
バルブから30°の範囲内ではタイヤチェンジャーでビートを落とさないでください。タイヤセンサーが破損する恐れがあります。タイヤセンサーの取扱いには細心の注意を払ってください。  
またタイヤ脱着時には作業を行う作業員に必ずタイヤセンサーが取り付けられていることを告知して、注意を促してください。タイヤ脱着時にタイヤセンサーを破損した場合にはクレームをお受けすることが出来ません。



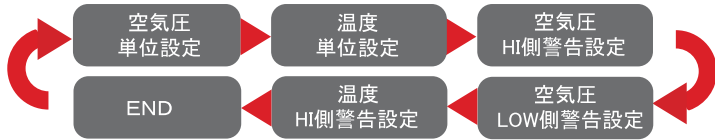
タイヤの脱着時には必ず手作業によりタイヤのビートがセンサーを跨ぐ作業を行ってください。タイヤセンサーを破損する恐れがあります。

★ タイヤ内にパンク予防剤・修理剤の充填はしないでください。タイヤセンサーが作動しくなくなります。

## TMSの設定モード

### 1. 設定モード 製品を正確にお使いいただくために必ず行ってください

通常画面時に、モードボタンの下側を押すと設定画面になり、空気圧単位設定画面より始まります。



END時 上側ボタンを押すと通常画面に戻ります。  
下側ボタンを押すと再度空気圧単設定画面になります。  
※温度警告設定はHI側のみにあります。

## TMSの設定

### A. 空気圧 単位設定

空気圧の単位を設定します。  
上側ボタンを押して単位を切替えます。  
PSI → KPA → Kg/cm<sup>2</sup>の順に切替わります。  
単位選択後、下側ボタンを押すと決定され次項に進みます。

PSI  
KPA  
Kg/cm<sup>2</sup>

000 | 000 Kg/cm<sup>2</sup>

### B. 温度 単位設定

温度の単位を設定します。  
上側ボタンを押して単位を切替えます。  
°F → °Cの順に切替わります。  
単位選択後、下側ボタンを押すと決定され次項に進みます。

°F

000 | 000 °C

### C. 空気圧 HI側の警告設定 (初期設定値2.85kgf/cm<sup>2</sup>)

空気圧のHI側の警告値を設定します。  
上側ボタンを押して数値を設定します。  
上側長押し→早送り  
警告値選択後、下側ボタンを押すと決定され次項に進みます。

Hi

3.50 | 3.50 Kg/cm<sup>2</sup>  
※数値が点滅します

### D. 空気圧 LOW側の警告設定 (初期設定値1.85kgf/cm<sup>2</sup>)

空気圧のLOW側の警告値を設定します。  
上側ボタンを押して数値を設定します。  
上側長押し→早送り  
警告値選択後、下側ボタンを押すと決定され次項に進みます。

Lo

1.30 | 1.30 Kg/cm<sup>2</sup>  
※数値が点滅します

### E. 温度の警告設定 (初期設定値80°C)

温度の警告値を設定します。  
上側ボタンを押して数値を設定します。  
上側長押し→早送り  
警告値選択後、下側ボタンを押すと決定され次項に進みます。

Hi / °C

60 | 60 °C  
※数値が点滅します

設定画面終了後は、センサー信号受信画面になります。

## TMSの使用方法

### 1. 通常表示



電源投入後又は設定画面終了後、全画面が点灯(約2秒)した後、センサーからの信号を受信するまで待機状態となります。



モニター本体に前輪のセンサーから信号を受信し、後輪からの信号を受信待ち状態です。(後輪から先に受信する場合があります)



前後輪とも受信した状態  
(電源投入時は空気圧表示になります)  
(前後受信するまでに5分ほどかかる場合もあります)



モードボタンの上側を押すと温度表示に切り替わります。再度、上側ボタンを押すと空気圧表示に戻ります。

タイヤ内温度が0°C以下の場合は、0°C表示のままです。

### 2. 警告表示

任意に設定された数値を超えたり、下回った場合に警告表示をします。



空気圧表示中に、後輪の空気圧に異常を感じた場合バックライトが赤色に変化し、数値が点滅します。(前輪の場合は前輪の数値が点灯します)



温度表示中に、前輪の温度に異常を感じた場合バックライトが赤色に変化し、数値が点滅します。(後輪の場合は後輪の数値が点灯します)



空気圧表示中に、後輪の温度に異常を感じた場合警告表示が点滅し、バックライトが赤色に変化します。モードボタンを押して温度表示に変更して確認してください。



温度表示中に、前輪の空気圧に異常を感じた場合警告表示が点滅し、バックライトが赤色に変化します。モードボタンを押して空気圧表示に変更して確認してください。



前輪のセンサーの電池の残量が少なくなった場合バッテリー警告表示が点灯し、「F」が点滅します。(後輪の場合は「R」が点滅します)

タイヤセンサーの電池交換を行ってください。  
電池交換にはセンサー用ケースが必要です。(品番:1080058-04 価格1050円/税込)電池:CR2450  
センサーの電池交換は、タイヤ交換時などにお早めに交換される事をおすすめいたします。



後輪のセンサーに異常があった場合数値・バーグラフが消えます。(前輪の場合は前輪の表示が消えます)

一度電源を入れ直してください。それでも表示されない場合は電池切れ、またはタイヤセンサー異常です。販売店又は弊社までお問合せください。

### 用語説明

番号	略称	正式名称	内容
1	TMS	タイヤモニタリングシステム	タイヤ内の温度・空気圧を測定・表示します
2	ACC電源	アクセサリ電源	メインキーをONにした時に電気の流れる所
3			

●TMS(タイヤモニタリングシステム)は、お客様のタイヤコンディションを管理し安全に走行いただくための補助システムです。タイヤの損傷やバーストによる事故を防ぐものではありません。走行前には必ず目視による点検を行い走行には十分気をつけてください。

●TMSを装着の際、一般道路及び高速道路での走行は法定速度を守ってご利用ください。

### 重要!!

●電池交換について  
J9690001~J9690200のロット番号ラベルがついているセンサーは電池交換が不可のためセンサー本体(バルブは含まれません)ごと交換してください。電池交換サインがつかましたら、センサーのご用意をいたしますので弊社もしくはご購入販売店までご連絡をお願い致します。  
尚、現在お使いいただいておりますセンサー本体の返却が条件です。  
センサー交換後、必ず弊社までご返送いただけますようお願い致します。  
センサー装着の際は必ずマッチング設定を行ってください。  
(そのままではご使用いただくことができません。)

※センサー本体価格: ¥1,575 (税込み)

本製品の内容は平成20年08月現在の内容です。

## ■センサー取付時のバルブの締め付け目安

センサーバルブを取付ける際、下記図を参考にバルブナットの締め付けを行って下さい。

- 1、センサー本体を手で軽く押さえながら、ナットを手締めでしっかりと固定します。
- 2、ナットにマジック等で印をつけ、固定した位置を基準にラバーブッシュの個数に合わせて、図を参照いただき工具を使用して回転数分ナットを締め付けて下さい。
- 3、工具でナットを締め付けた後、ロックナット(ダブルナット)で確実に固定して下さい。

### 注意!!

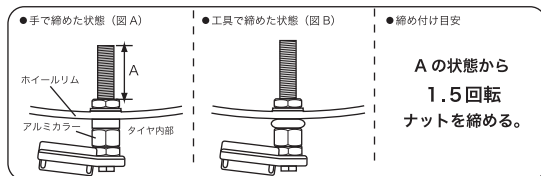
※締め付け回転数はあくまでも目安となりますので、締め付け後には必ずバルブの動きエア漏れの確認を行って下さい。(バルブの固定が弱いと高速走行時にセンサーが動きエアが漏れる場合がございます)

※ラバーブッシュを使用している性質上、締め付けに対するトルク表記(管理)は出来ませんのでご了承ください。

※アルミカラー締め付けの際はバルブナットを固定しながら締め付けをおこなってください。

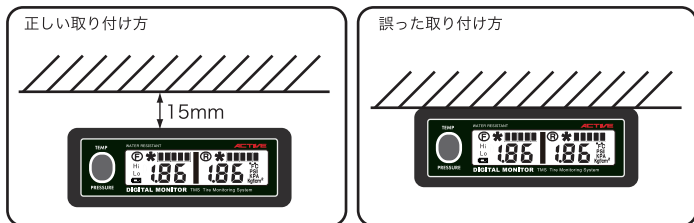
※純正ホイールなどホイールリムにホイールの合わせによるリップが立っている場合はヤスリ等をご使用いただき、できるだけワッシャー面が平らに当たるように削ってください。

### ■バルブの締め付け目安



## ■モニター取付時の注意事項

モニターを取り付ける際は、モニター上部に15mm以上の間隔をあけて取り付けてください。隙間無く取り付けると受信不良を起こす可能性があります。



## ■トラブルシューティング

### ■モニターの電源が入らない。

- ・電源用ハーネスとモニターの配線カブラーが確実に接続しているか確認してください。
- ・電源用ハーネスが車体のアクセサリ電源に確実に接続しているか確認してください。
- ・車体のメインスイッチがオンになっているか確認してください。

### ■モニターに空気圧、温度が表示しない。

- ・タイヤの空気圧を変動させ5分後に再度確認してください。
- ・場所を変えて再度確認してください。(場所により受信状態が悪い場合があります。)
- ・モニターの取り付け位置を確認してください。(モニター取付時の注意事項参照)
- ・モニターのセンサー電池残量表示を確認してください。

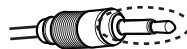
### ■空気圧表示が正確に表示しない。

(圧力表示誤差 ±0.15kgf/cm<sup>2</sup>PSI以内 温度表示誤差±3℃以内)

- ・タイヤの空気を抜いて5分後に再度確認してください。
- ・場所を変えて再度確認してください。(場所により受信状態が悪い場合があります。)
- ・モニターの取り付け位置を確認してください。(モニター取付時の注意事項参照)
- ・モニターのセンサー電池残量表示を確認してください。

### ■電源線の取り扱い注意事項

電源線のカブラーを抜いた場合



本体の取り外し等で電源線のカブラーを抜いた際にはカブラーの先端の金属部分が、車体等に接触しないように保護してください。接触した場合、配線がショートする恐れがあります。

### ■上記以外のご質問、お問合せは下記まで

メールによるお問合せ

info@acv.co.jp

電話によるお問合せ

0561-72-7011